

地球温暖化の真相

未来社会を考える会

毎年何兆円もの予算（10年で150兆円）が投じられて、
森林などがソーラーパネルによって埋め尽くされ
たり、巨大な風車が林立したり、
再エネ賦課金によって電気料金が上乗せされたり、
実用的ではない高価なEV車を補助金で普及させたり
.....

このような政策の根底にあるのは、IPCCの人間が排出
する炭酸ガスによる地球温暖化説である。

「地球温暖化」に起因する問題

化石燃料（石炭・石油等）の大量使用

- 地球が温暖化

- ・このまま気温が上昇し続けると世界が大変なことに
- ・氷河が、台風が、南の島が、北極の熊が、森林火災が、災害が激甚化……

- 化石燃料の使用を止めて再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電）に転換を！
- ガソリンやディーゼル車を止めて電気自動車（EV）にシフトすべきだ！
- 牛のゲップはメタンガスを出すので牛の飼育をやめるべきだ！

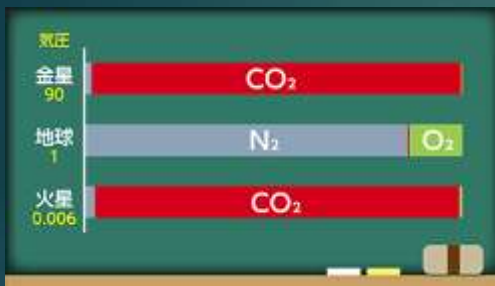
再生可能エネルギーの普及

- 再エネ賦課金による電力料金のアップ
- 広大な土地の使用による自然破壊
- ウイグル人の強制労働による中国製ソーラーパネルの普及
- ソーラーパネルの廃棄に伴う公害問題
- 自宅建物にソーラーパネルの設置義務化→住宅価格の上昇

電力の不安定化

- 火力発電によるバックアップ体制が必要
- 原発の再稼働が必要

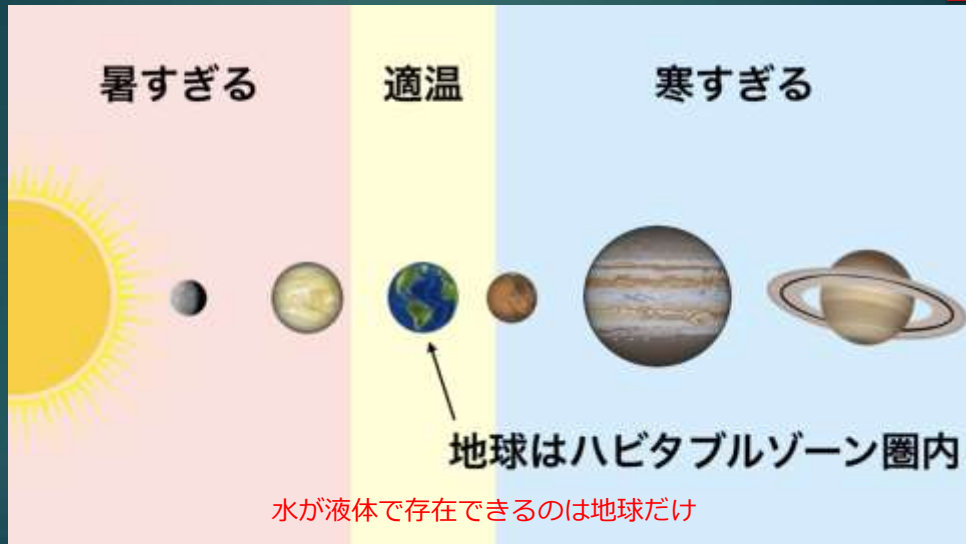
地球の炭酸ガスについて考えてみよう



兄弟惑星 金星、地球、そして火星

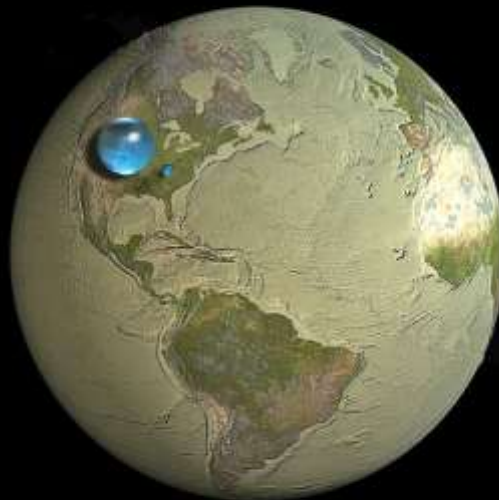
	金星	地球 (太古)	火星	地球 (今)
CO ₂	96	95	95	0.04
O ₂	0	0	0	21
N ₂	3	5	3	78

地球だけ炭酸ガスの割合が激減した理由



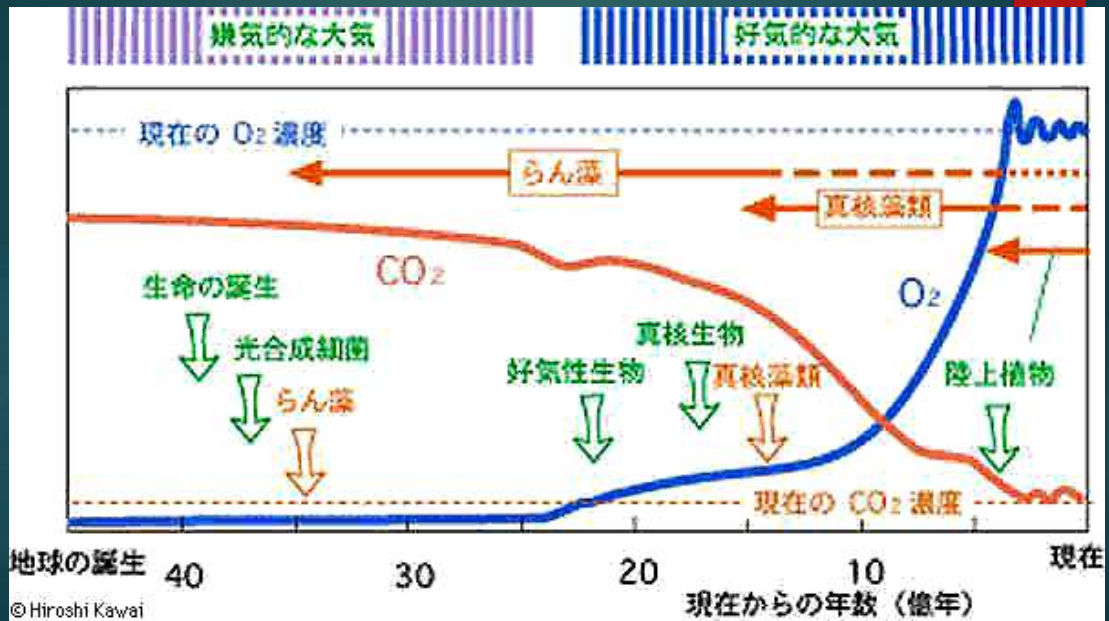
水の惑星と言うけれど..

The World's Water



All water on, in, and above the Earth
 Liquid fresh water
 Fresh-water lakes and rivers

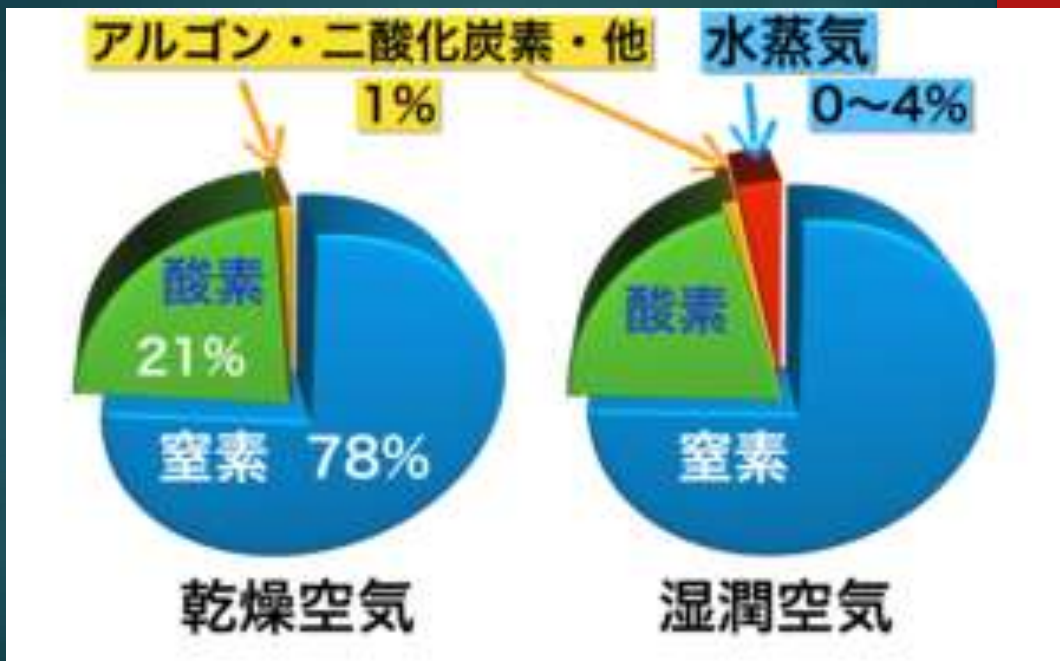
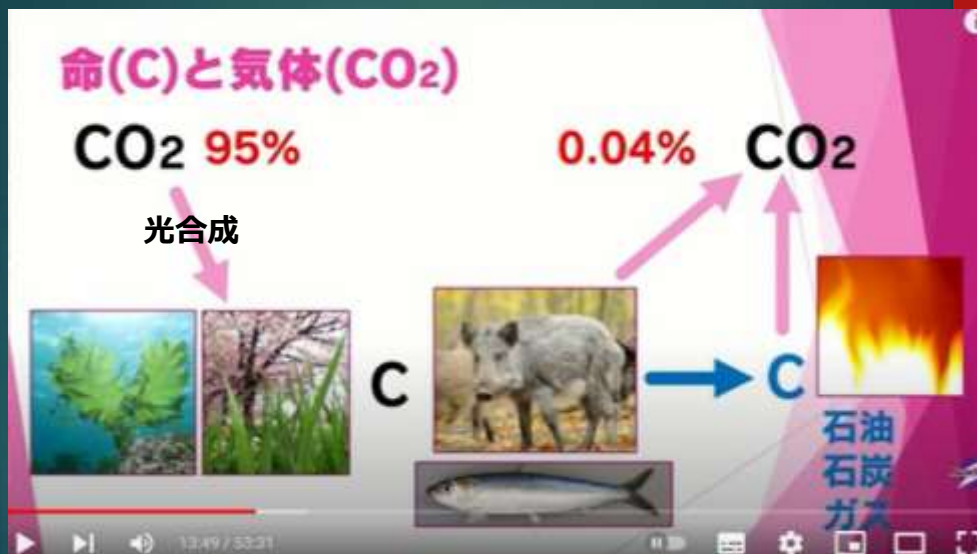
Howard Frutkin, USGS,
 John Cook, Woods Hole Oceanographic Institution,
 Adam Watson
 Data source: IPCC, 2007
<http://ga.water.usgs.gov/edu/earthwtr.html>



$CaCO_3$ の塊



炭酸ガスは悪者か？



分子式と温室効果の関係

窒素	: N_2	温室効果無 (0?)
酸素	: O_2	温室効果無 (0?)
水	: H_2O	温室効果有 (1?)
炭酸ガス	: CO_2	温室効果有 (1)
メタンガス	: CH_4	強烈な温室効果 (28)



図 1.8 温室効果の内訳

石炭、石油、天然ガスとメタンハイドレートの埋蔵量

- 石炭、石油、天然ガスの埋蔵量はそれぞれ異なり、一般的に石炭、天然ガス、石油の順に多く、可採年数も石炭が最も長く、石油が最も短いと推定されています。2023年末時点の世界の埋蔵量は、**石炭が約1兆1,070億トン**、**石油が約1兆7,340億バレル**と推定されており、**天然ガスは2020年末時点で約188兆立方メートル**でした。
- 世界のメタンハイドレート埋蔵量は、推定で数千兆立方メートルに及び、**世界の確認済み天然ガス埋蔵量をはるかに凌駕する**といわれています。陸域と海域を合わせると、在来型天然ガス資源に匹敵する、あるいはそれを上回る膨大な量が存在すると推計されています。

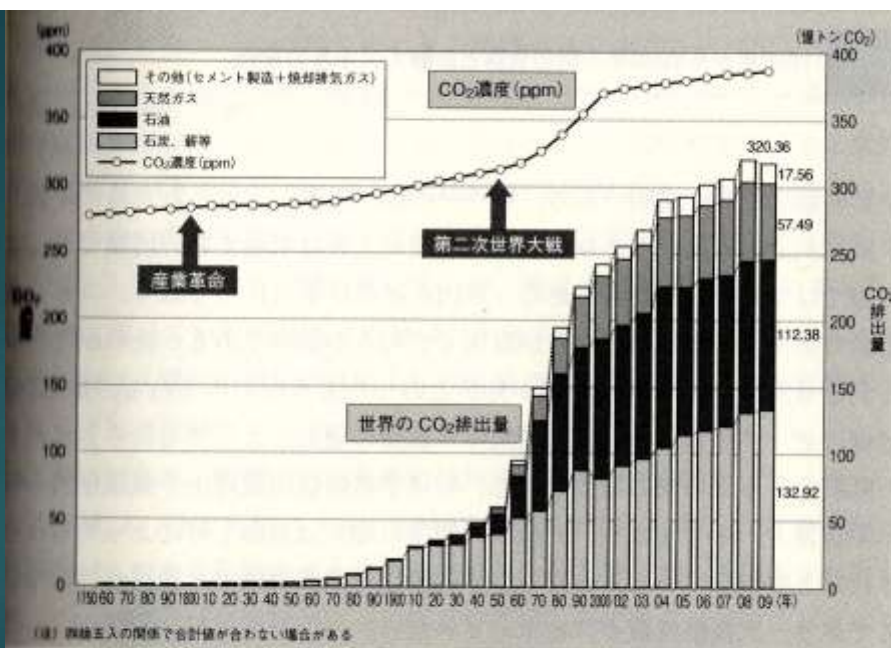
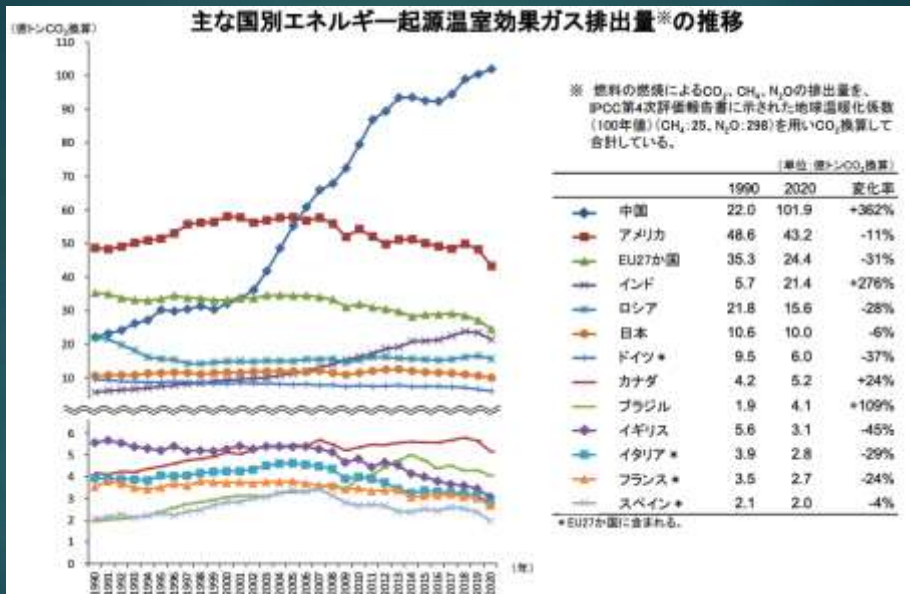
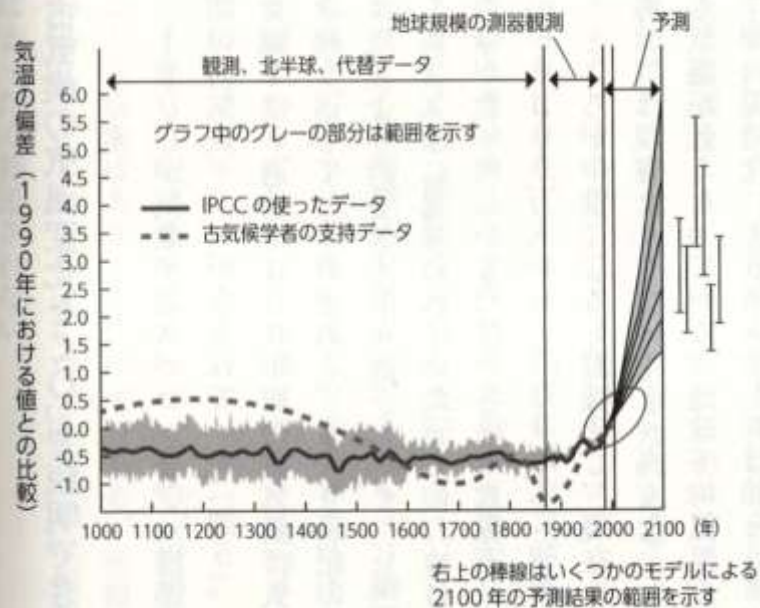


図12 過去250年間の大気中炭酸ガス量の変化と人類の化石燃料使用量の変化



出典：環境省『世界のエネルギー起源CO₂排出量（2020年）』p.5

図5 IPCCによる過去1000年の古気候と21世紀の予測



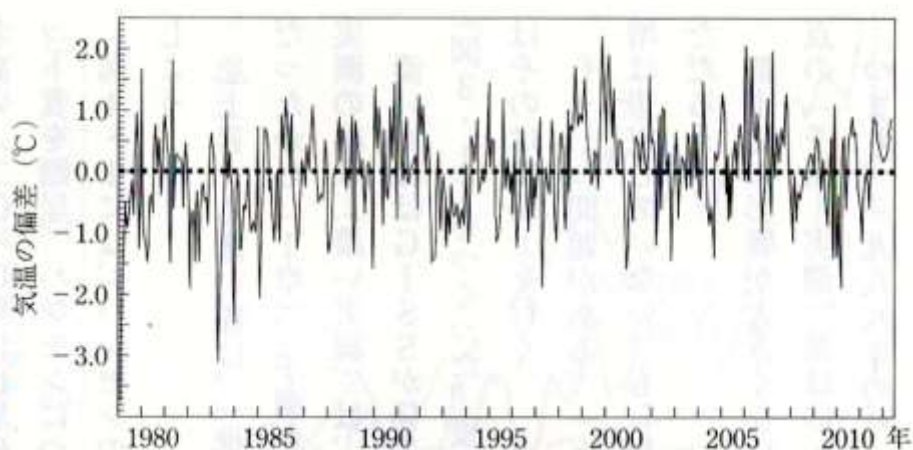
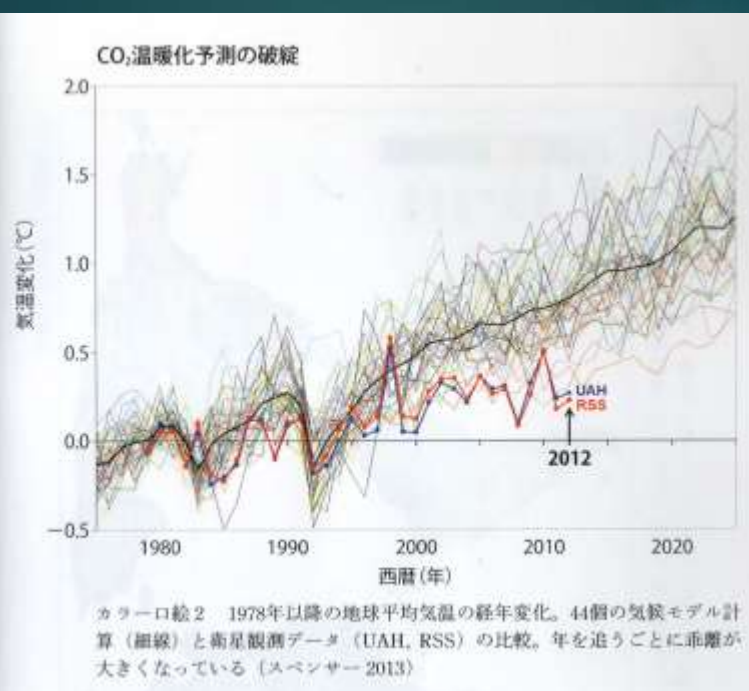


図 4.2 衛星で測った米国 48 州の気温トレンド：1979 年～2011 年 12 月

縦軸の「偏差」は 1981～2010 年の平均値を 0 とみた変動を表す。水平な破線は著者が追加。

[アラバマ大学／NASA が公開している対流圏底層＝地表付近のデータ]



カラー口絵 2 1978 年以降の地球平均気温の経年変化。44 個の気候モデル計算（細線）と衛星観測データ（UAH, RSS）の比較。年を追うごとに乖離が大きくなっている（スベンサー 2013）

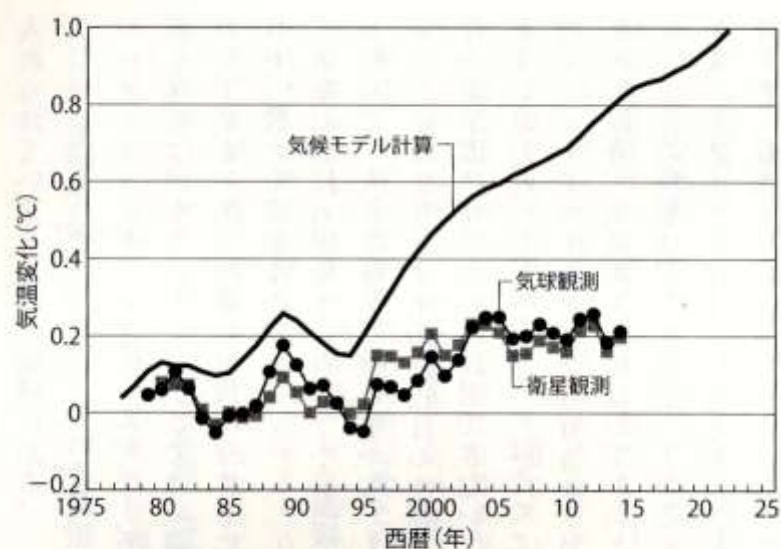


図1-2 1979～2014年の地球平均気温の変化。102個の気候モデル計算（CO₂排出モデル CMIP-5による）と、4個の気球観測、2個の衛星観測の平均値の比較。気球と衛星の観測結果はよく合っており、計算結果はそれから大きく乖離している（クリスティ 2015）

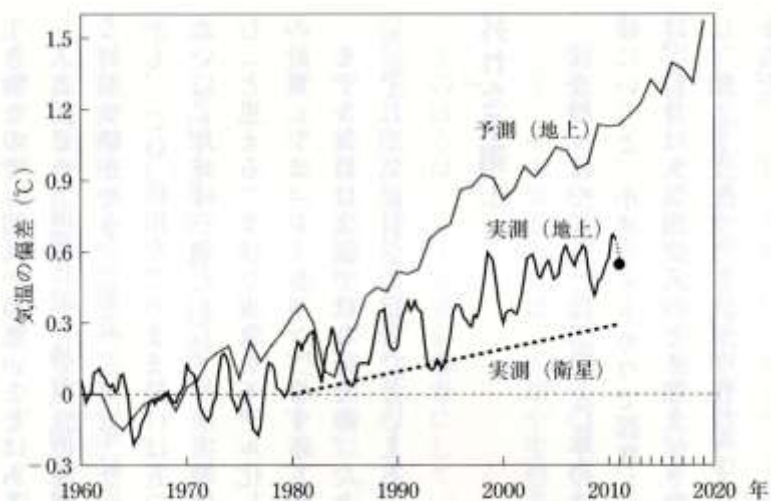


図 4.1 1988 年時点の予測と GISS の実測気温の推移

どちらも 1951～80 年の平均値を 0 とみた偏差を表す。

薄い実線：J. Hansen *et al.*, *J. Geophys. Res.*, **93**, 9341 (1988)。

濃い実線：http://data.giss.nasa.gov/gistemp/graphs/（2011 年の●は予想値）

太い破線：図 3.8 の衛星観測データに目分量で引いた破線と同じ。

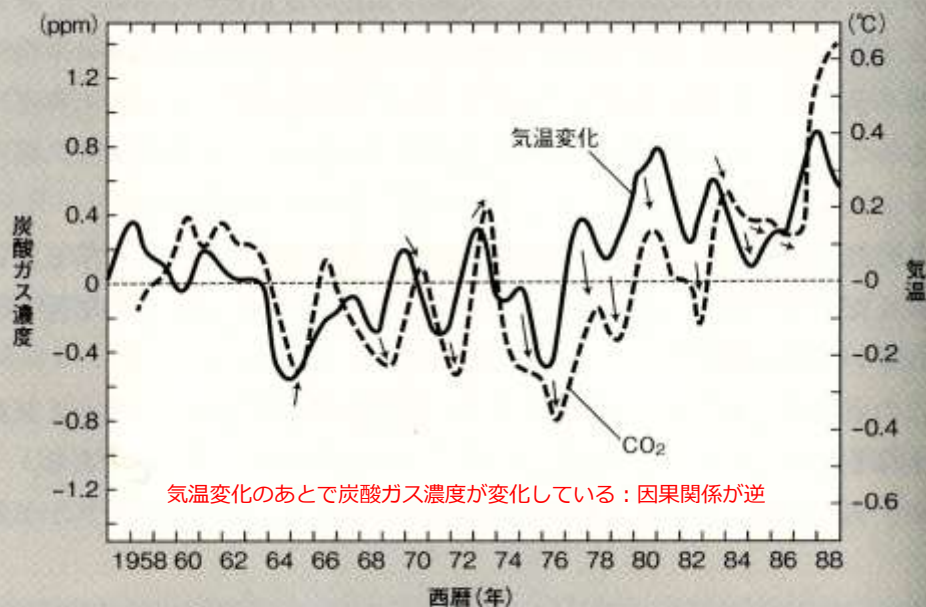


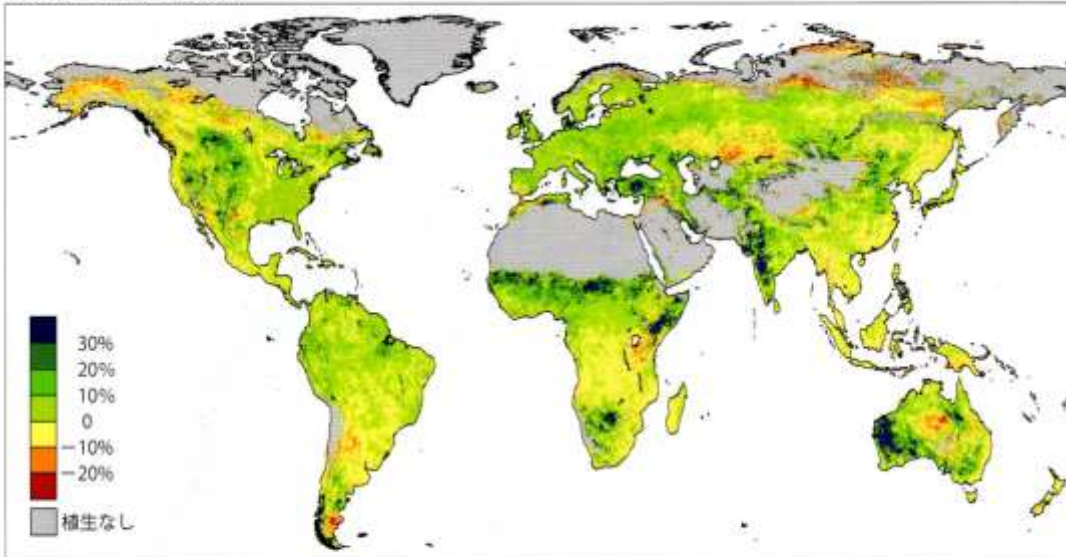
図13 1958年から1988年の間の気温と炭酸ガス濃度の変化

表 2.2 CO₂濃度を上げると増える作物の収量

作物	CO ₂ 増加がもたらす収量の平均増加率*			
	+300 ppm	報告数	+600 ppm	報告数
小麦	1.32 倍	235	1.50 倍	14
米	1.36 倍	188	2.41 倍	22
大豆	1.47 倍	179	1.70 倍	26
トマト	1.33 倍	45	1.41 倍	39
ジャガイモ	1.30 倍	33	1.60 倍	17
トウモロコシ	1.21 倍	20	1.33 倍	10
ナタネ	1.53 倍	20	1.37 倍	3
大麦	1.39 倍	19	1.51 倍	4
インゲン豆	1.64 倍	17	1.72 倍	6
キュウリ	1.50 倍	9	1.46 倍	11
ブロッコリー	1.29 倍	5	1.60 倍	9
アルファルファ	1.33 倍	73		
クローバー	1.65 倍	49		
ボンデローサ松	1.63 倍	47		
ピーナッツ	1.60 倍	38		
綿	1.61 倍	37		
砂糖ダイコン	1.66 倍	32		
シラカバ	1.3 倍	31		
ヨシ	1.15 倍	24		
アカザ	1.39 倍	16		
菊の一種			1.33 倍	14

* 測定値にはバラつきがあり、たとえば「+300 ppm の米」は「1.36 ± 0.02 倍」、「+600 ppm の小麦」は「1.50 ± 0.11 倍」となるが、表には平均値だけ載せた。

[http://www.co2science.org/data/plant_growth/dry/dry_subject.php から抜粋]

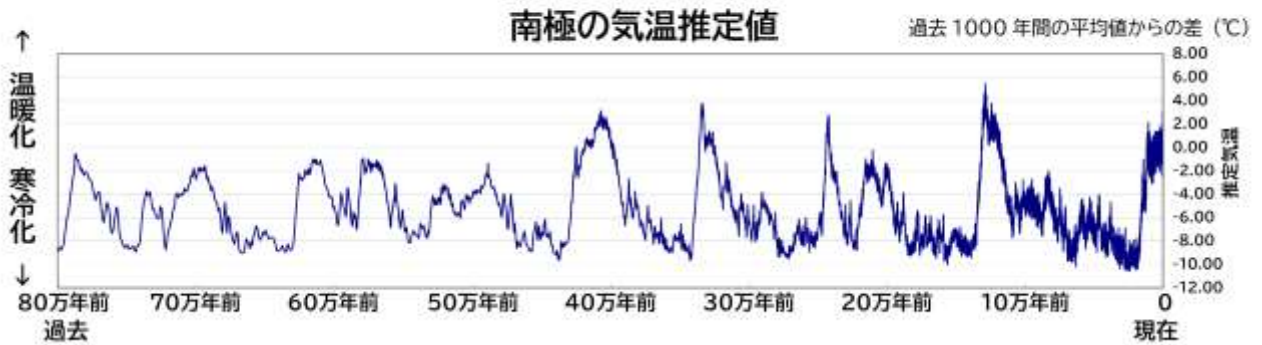
CO₂増加による世界の緑化

カラー図1 地上の植生被覆率の変化 1982～2010。衛星観測による。

被覆率はほぼ全域にわたって増加しており、その増加（11%）は主に大気中 CO₂ 濃度の増加（14%）によるものと結論されている（ドノヒューら 2013）



過去 80 万年間における南極の気温の推定値の時系列



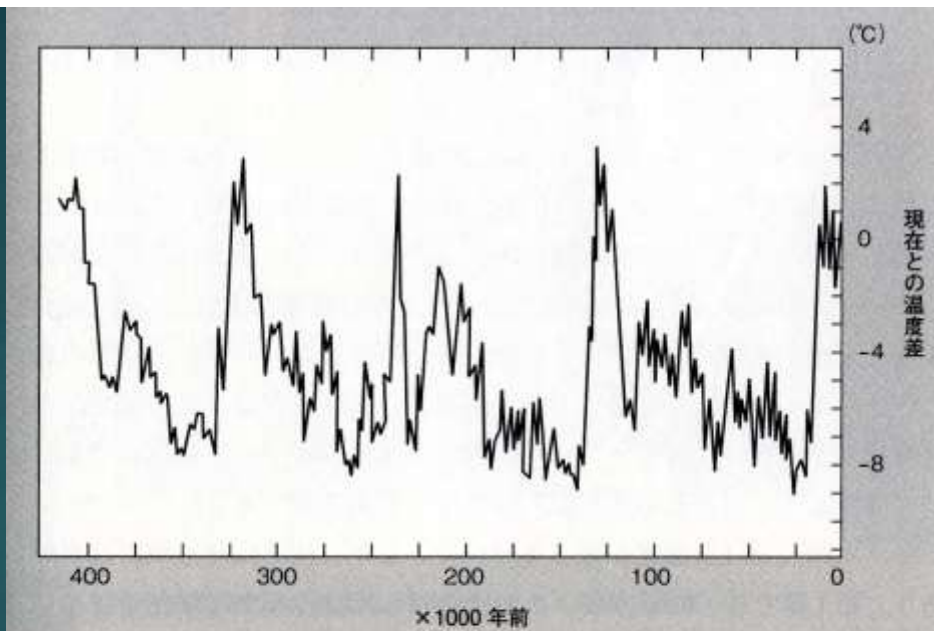


図27 過去40万年間の地球気温変動

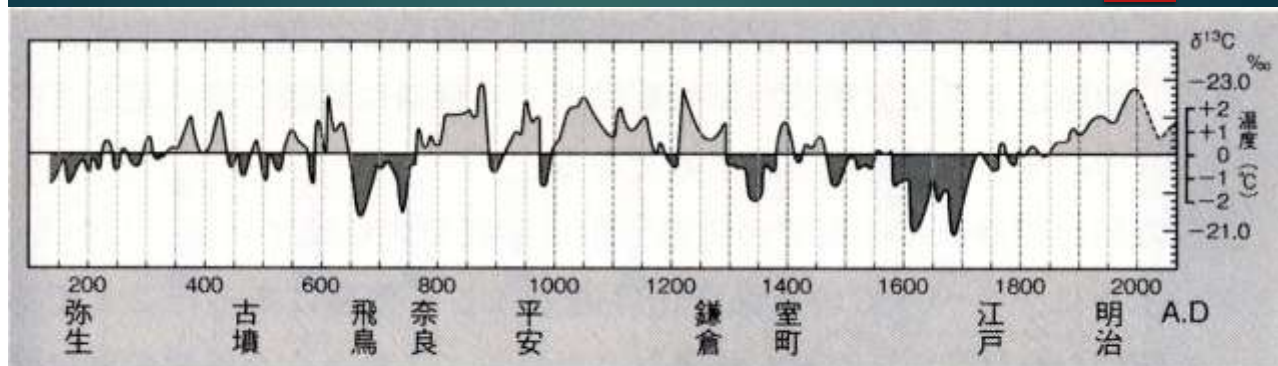


図29C 屋久杉年輪の炭素13同位体比から推定した過去1850年間の気温変化

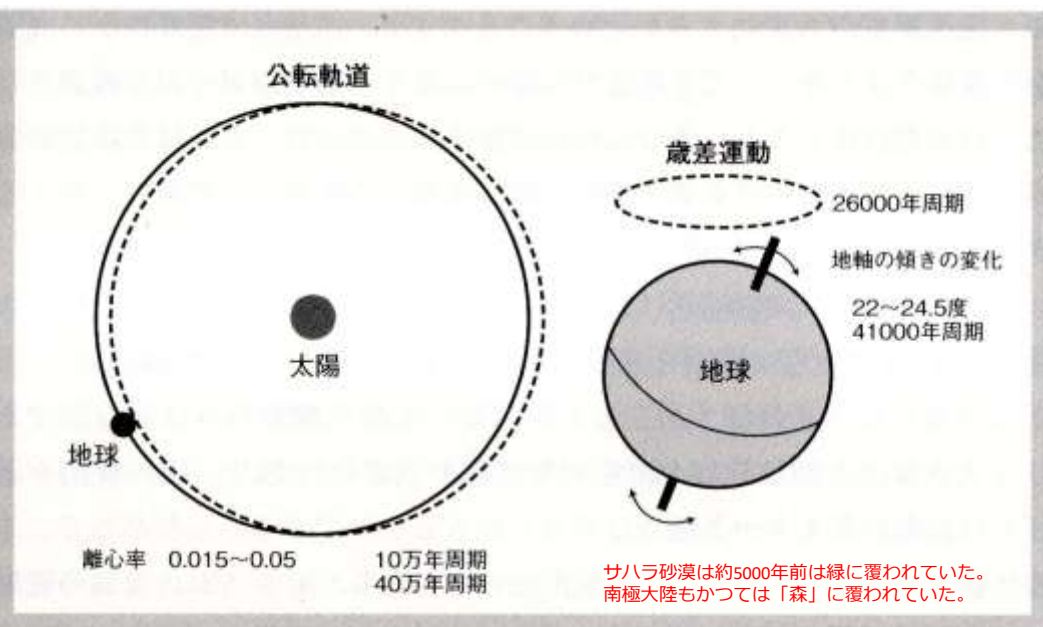


図17 ミランコビッチ・サイクルの概念図

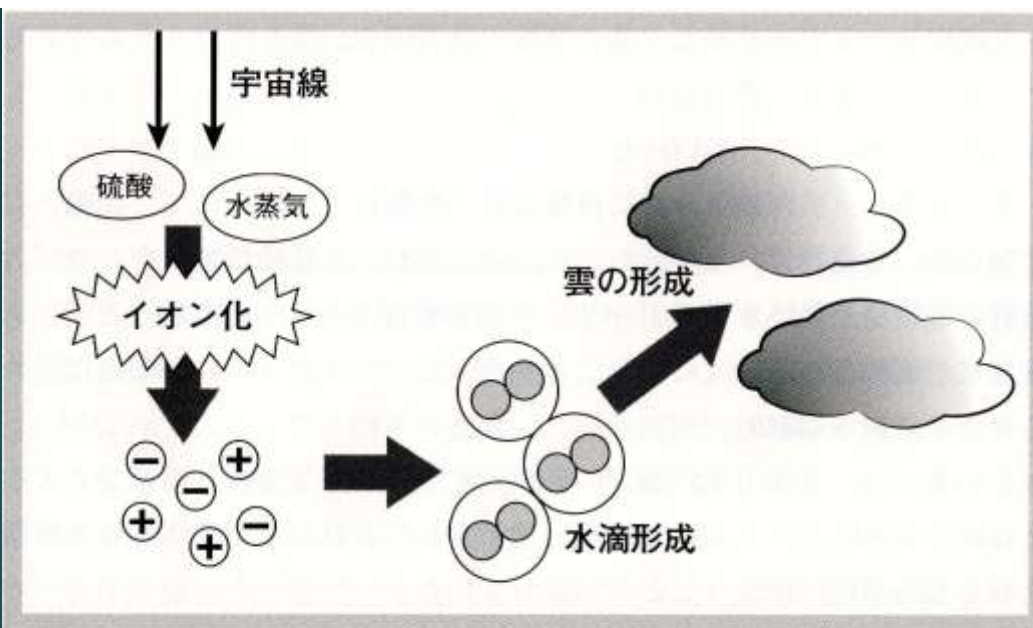


図19 宇宙線放射と雲形成の因果関係を模式的に示した図

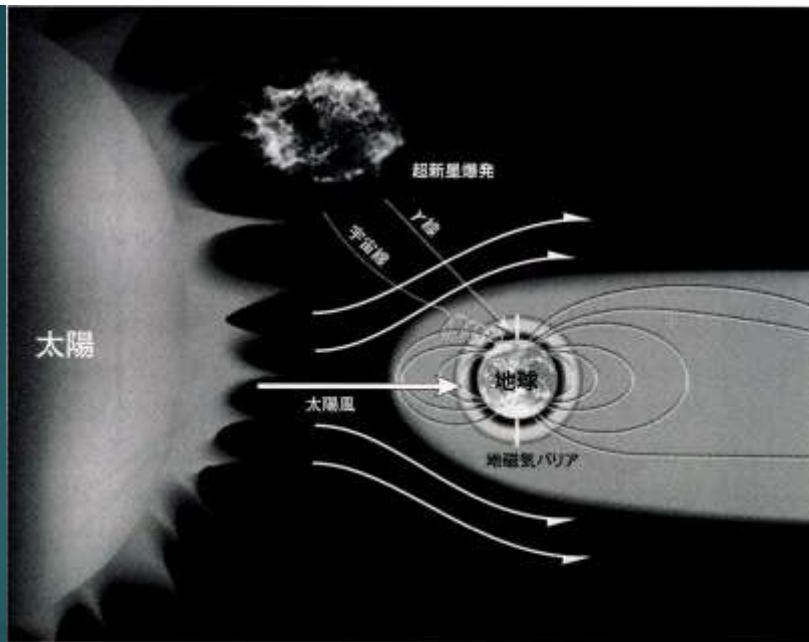


図23 宇宙線、太陽風と地磁気の関係

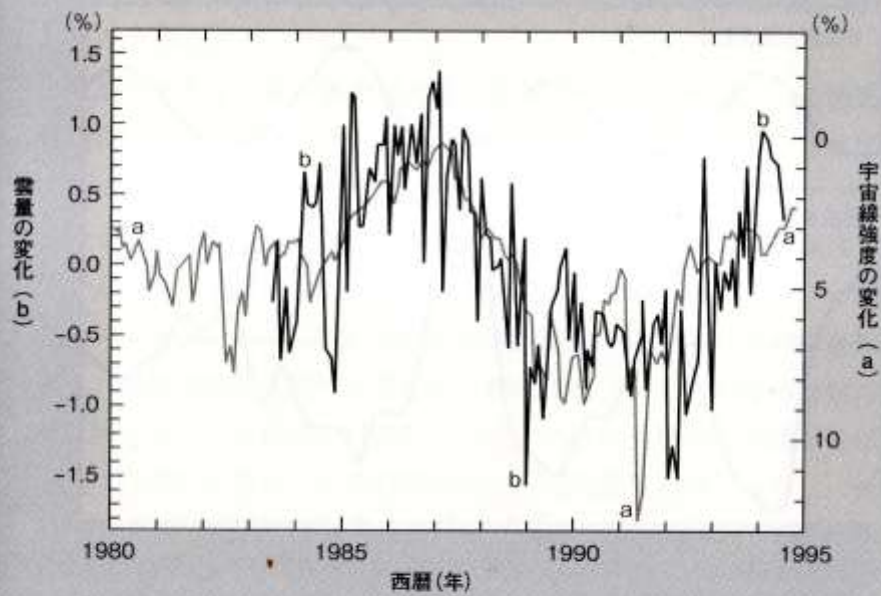


図20 宇宙線強度(図中a)と雲量(b)の関係、ただし同様の関係は中層及び高層雲では認められていない

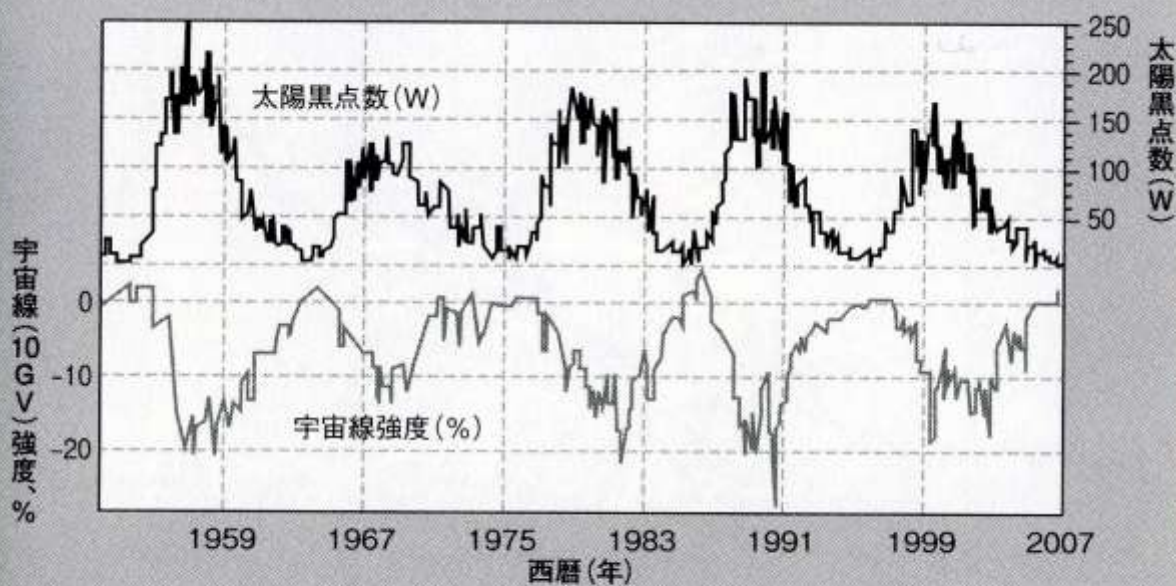


図21 過去50年間の宇宙線強度と太陽活動の変化

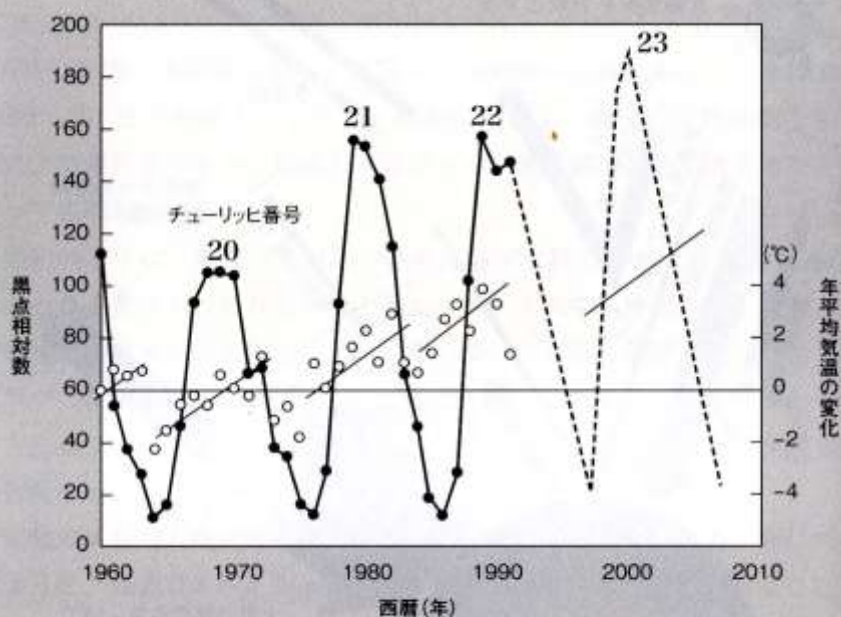


図15 1960年から2010年間の太陽黒点数と気温変化

CO2による地球温暖化論に関する疑問 (YouTube動画)

[地球温暖化の嘘と真実お話し：梶山正三](#)

[【博士も知らないニッポンのウラ】丸山茂徳「地球温暖化のウラ」～CO2が原因ではない？～](#)

[「地球温暖化説」を冷静に見るための11の視点～東大名誉教授が語る～【未来編集】](#)

地球温暖化対策の被害

- いま日本では年々5兆円超（1日に150億円！）の「温暖化対策費」が飛び交っている。
- 莫大な地球温暖化対策予算の無駄
- メガソーラー・巨大風車などの建設に伴う自然・環境破壊
- 中国産ソーラーパネルの大量購入
- 再生エネルギーの買取に伴う電気代賦課金による電気代アップ
- 欧州では、脱炭素化政策により、電力価格の高騰、自動車産業の破壊・経済破綻が進行している。
- [気候変動ブーメラン。環境規制を逆手にとって、欧州を潰すトランプ](#)

地球温暖化に関する2つのノーベル賞の真偽

2007年のノーベル平和賞

受賞者：前米副大統領のアル・ゴア氏と「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」

受賞理由：「人為的に起こる地球温暖化の認知を高めたこと」

問題点の指摘

アル・ゴア「不都合な真実」にある科学的間違い

2021年のノーベル物理学賞

受賞者：真鍋淑郎

受賞理由：「地球の気候を物理的にモデル化し、気候変動を定量化して地球温暖化の確実な予測を可能にした」貢献が受賞理由「気候変動の物理的モデル化、気候変動の定量化、地球温暖化の確実な予測」

問題点の指摘

だれにでもわかる気候モデルの問題点 [Climate Models](#)

気候モデルの問題点と誤用リスク：脱炭素政策が社会にもたらした影響

参考動画

CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」① 災害の激甚化はフェイク	https://www.youtube.com/watch?v=IVjWqsOQh6I
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」② 温暖化対策の費用対効果	https://www.youtube.com/watch?v=2CVWRY7WxII
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」③ 世界の社会統計	https://www.youtube.com/watch?v=cVf61F10V0Q&t=2s
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」④ 温暖化予測	https://www.youtube.com/watch?v=Kmd5F2754I0&t=3s
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑤ グリーン成長	https://www.youtube.com/watch?v=cOK81pgGqDU
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑥ グリーンバブル	https://www.youtube.com/watch?v=AvoQLmZNkFs
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑦ 集中豪雨は温暖化のせいではない！	https://www.youtube.com/watch?v=GluVX25TbAU
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑧ 寒さによる死亡のほうが暑さによる死亡より遥かに多い！	https://www.youtube.com/watch?v=g66lhzM37k
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑨ 東京はすでに3度上昇したが反映している！	https://www.youtube.com/watch?v=oQkA1WjvEW
CIGS 杉山大志研究主幹講演「地球温暖化のファクトフルネス」⑩ シロクマは増えている！	https://www.youtube.com/watch?v=HwP3RF3rJEM
温暖化より危険な寒冷化！藤和彦氏	https://www.youtube.com/watch?v=8R78TtVvK58

参考にした本



まとめ

- 地球の気温は様々な要因によって、暖かくも冷たくも、大きくも小さくも変動してきた。
- 近年の都市部での気温上昇は、ヒートアイランド現象によるものである。
- 植物と動物の体はの全ては、炭素を最も基本的な元素として形成されている。
- この炭素は、植物が光合成によって、空気中の炭酸ガスから取り込んでいる。
- 炭酸ガスが増えれば、暖かくなり、植物の生育が良くなり、食料が増える。
- この炭素は地球の歴史上、絶えず減少してきた。空気中に含まれる炭酸ガスは、現在0.04%しかない。
- 地球史的に空気中から減少を続ける炭素（炭酸ガス）を空気中に戻せるのは人間だけである。
- 脱炭素化を進めると、空気中から炭酸ガスが少なくなり、植物の光合成が進まなくなり、植物は育たなくなり、植物を食料とする動物も繁殖しなくなる。
- 人為的な脱炭素化によって……政府が行っていること
 - ・ 化石燃料による発電の停止
 - ・ 再生可能エネルギー（ソーラーパネル、風力）→自然環境の破壊
 - ・ 賦課金による電気料金のアップ
 - ・ 自動車のEV化→維持費のアップ・走行距離の短縮化